



コール・フロレス

深澤いづみ

コール・フロレスに入って2年目、いろんなことが初めてづくし。「みんなで歌う会」も初参加でした。バス停からツルツル路面で転倒しないように歩き、観光客を横目に芸術ホールへ。

各団体の素敵な合唱をすぐそばでできくことができととても良かったし、自分たちの時も村上先生の指導のようにできるか、ドキドキしながらの発表となりましたが、「良かったよ」と声をかけていただき、本当に嬉しく、ホッと一安心しました。

皆さんと一緒に懐かしい歌を歌ったり、知らない歌を聴いたり、とても元気でかわいい「そうれっしゃがやってきた」や楽しい踊りも飛び出し、笑顔いっぱいでした。歌詞コールで歌うというのも懐かしかった(50年ほど前は皆そうでしたね〜)私としては、音がはずれても歌詞を間違っても気兼ねなく思い切り歌える場があって、とても楽しかったです。(周りの方にはご迷惑でも)

このところ心痛む出来事を目にする事の多い日々の中、小さくても歌声の灯が広がって、ほっこりあたたかい場ができるっていいですね。



『高原列車は行く』といっしょに

北斗市民合唱団 熊本 昇

♪汽車の窓からハンケチ振れば 牧場の乙女が花束投げる・・・

作詞：丘灯至夫 ・ 作曲：古関裕而 『高原列車は行く』です。

NHK ラジオ歌謡として流れてくるこの曲は、子どもの頃から口ずさんでいました。大好きでした。

北斗市民合唱団が、練習曲にとり入れてくれました。歌うたびに子ども時代の日常や風景が浮かび、知りつくしたメロディーと歌詞は、混声3部の合唱曲として練り上げられると、一層その輝きを増します。魅力と楽しさがいっぱい、自身の得意曲になり、練習に熱が入りました。

思いがけない機会が訪れました。昨年12月2日、函館トロイカ合唱団が主催する「みんなで歌う会」にお誘いを受けたのです。

当団は言うに及ばず、私個人も心を踊らせて、芸術ホールに足を運びました。

発表曲は『高原列車は行く』。うたごえの仲間80人の笑顔の中で熱唱しました。

忘れることのできないすばらしい集いになりました。